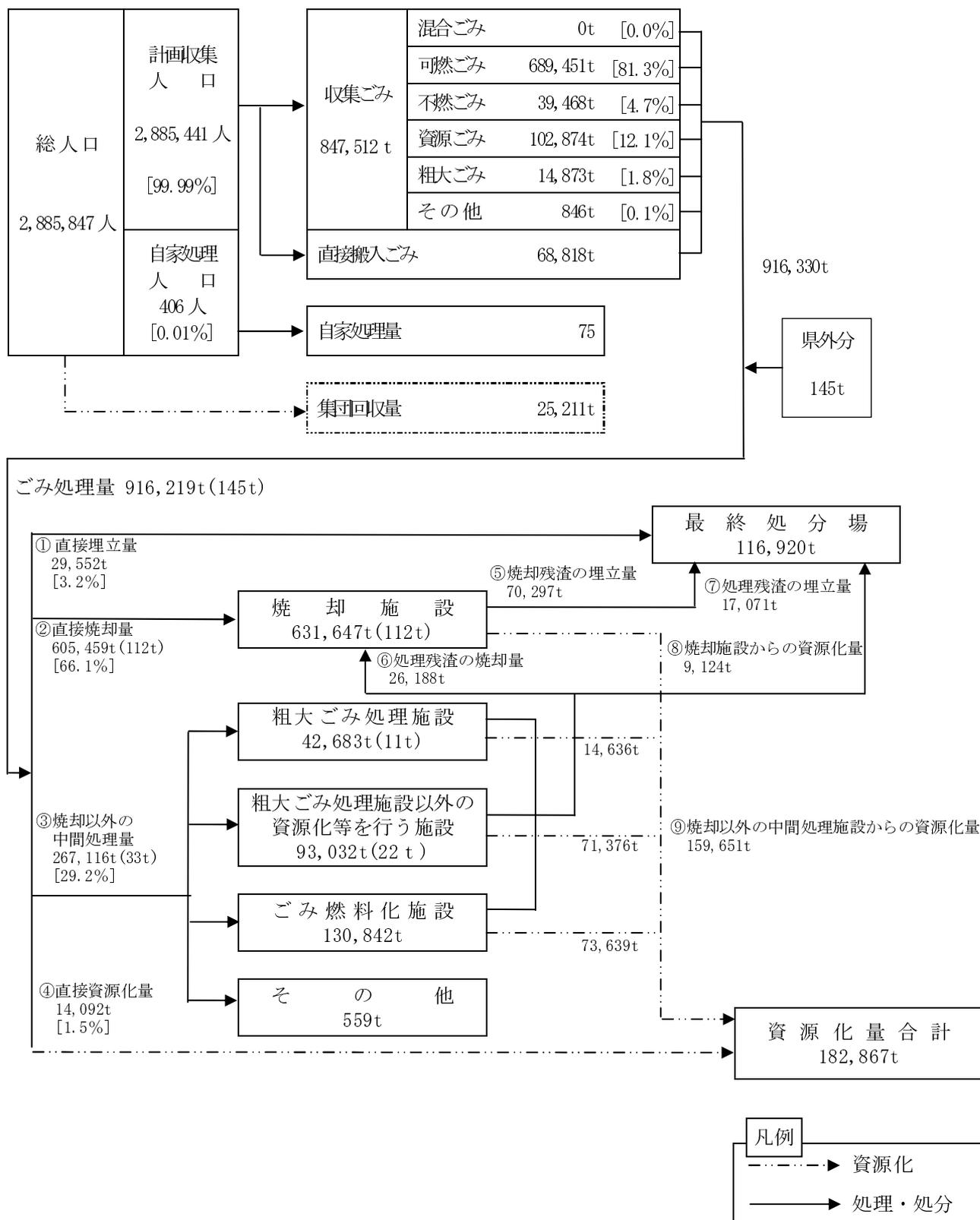


II ご み

1 概要

平成 24 年度におけるごみ処理フローシートは、図 2 - 1 のとおりである。



(注) 県外分とは、愛媛県今治市からの受託分であり、外数で () 内に表記している。
計量値の差や水分の蒸発などの理由により、排出量と処理量は一致しない。

図 2 - 1 ごみ処理フローシート

2 処理人口、分別状況及び収集処理手数料

(1) 処理人口

ごみ処理人口の推移は、表2-1及び図2-2のとおりである。

自家処理人口は、減少傾向にある。

表2-1 ごみ処理人口の推移

(単位：人)

区 分 年 度	計画収集人口 (A)	自家処理人口 (B)	計画処理区域内人口 (A+B)
20	2,863,651	589	2,864,240
21	2,860,449	537	2,860,986
22	2,857,361	489	2,857,850
23	2,853,023	431	2,853,454
24	2,885,441	406	2,885,847

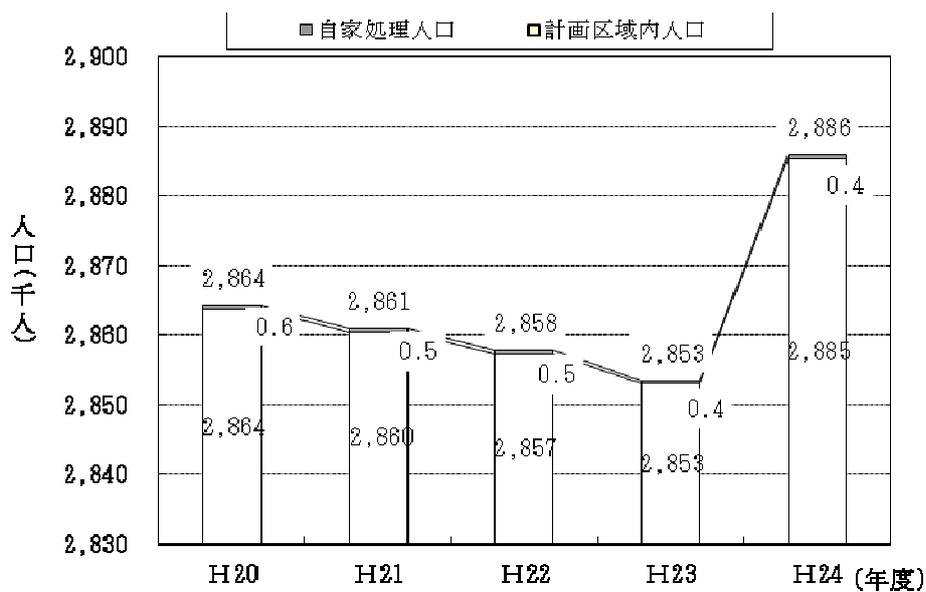
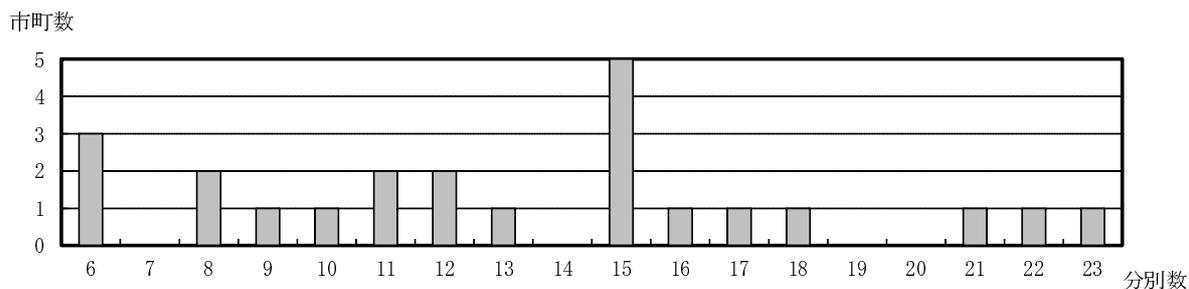


図2-2 ごみ処理人口の推移

(2) 分別状況

各市町におけるごみの分別収集の状況は、図2-3のとおりである。可燃、不燃、資源、粗大などと大きく分類した6種類分別から、資源ごみをさらに細分類し、23種類分別としている市町がある。

ごみの資源化を促進するため、分別収集の取組が進められている。



(注) 分別数は、排出者がごみを排出する際に分ける必要のある数を計上している。例えば、資源ごみとして缶、びん、ペットボトルを分けて収集している場合、資源ごみの分別数は3を計上する。

図2-3 各市町における分別収集の状況

(3) 収集処理手数料

各市町の生活系ごみ収集処理の有料化状況は、表2-2のとおりである。

平成24年度末で、生活系ごみの収集処理を有料化している市町は、23市町のうち、可燃ごみが10市町、不燃ごみが8市町、粗大ごみが11市町である。また、排出者が直接搬入する生活系ごみを有料化している市町は、可燃ごみが8市町、不燃ごみが7市町、粗大ごみが10市町である。

また、事業系ごみの処理を有料化している市町は、可燃ごみが21市町、不燃ごみが16市町、粗大ごみが15市町である。

表2-2 市町のごみ収集処理の有料化状況

(単位：市町)

区 分		可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ (紙類の状況)	粗大ごみ	そ の 他	
有 料 化 市 町 数	生活系	収集ごみ	10	8	3	11	5
		直接搬入	8	7	3	10	5
	事業系	収集ごみ	21	16	11	15	10
		直接搬入	23	18	13	19	11

- (注) 1 有料化とは、市町等がごみ収集処理についての手数料を徴収する行為を指す。なお、手数料を上乗せせずに販売される一定規格のごみ袋（指定袋）の使用を排出者に依頼する場合には、有料化に該当しない。
- 2 直接搬入とは、排出者が直接処理施設に持ち込む場合を指す。
- 3 事業系ごみについて、収集許可業者が処理施設に搬入する際に市町等が手数料を徴収する場合は、収集ごみの有料化として取扱う。
- 4 有料化でない市町については、手数料を徴収しない場合と、市町において当該区分を収集しない場合がある。

市町別計画処理区域内人口、ごみの分別、収集運搬及び手数料の状況は、IV資料編の資料一表7及び表8に示すとおりである。

3 排出量

(1) 収集形態別収集量、直接搬入ごみ量及び自家処理量

収集形態別収集量、直接搬入ごみ量及び自家処理量の推移は、表2-3のとおりである。

表2-3 収集形態別収集量、直接搬入ごみ量及び自家処理量の推移

(単位：t/年)

区分 年度	収集形態別収集量				直接搬入 ごみ	排出量 合計	自家 処理量	自家処理量を 含めた排出量
	直 営	委 託	許 可	計				
20	229,735	354,097	292,438	876,270	76,821	953,091	192	953,283
21	221,754	351,894	285,177	858,825	77,571	936,396	543	936,939
22	204,292	348,553	287,019	839,864	74,141	914,005	106	914,111
23	204,451	353,912	291,964	850,327	69,703	920,030	87	920,117
24	197,845	356,262	293,405	847,512	68,818	916,330	75	916,405

(注) 県外分は含まない。

(2) 1人1日当たりのごみ排出量

1人1日当たりのごみ排出量の推移は、表2-4及び図2-4のとおりである。1人1日当たりのごみ排出量は、平成12年度まで増加していたものが、平成13年度以降は漸次減少していたが、平成23年度は増加し、平成24年度は再び減少した。また、全国平均と比較すると低い値になっている。

表2-4 1人1日当たりのごみ排出量の推移

(単位：g/人・日)

年 度	20	21	22	23	24	全国平均 (平成23年度)
1人1日平均排出量	912	897	876	881	870	919

(注) 1人1日当たりの排出量 = (排出量 (g)) / (計画収集人口 × 365 又は 366 日)

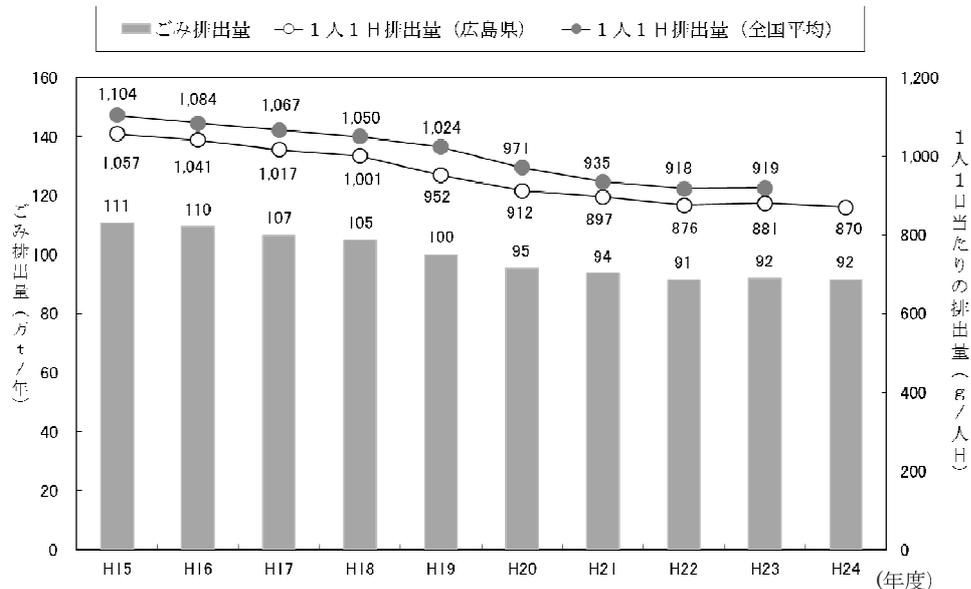


図2-4 ごみ排出量と1人1日当たりの排出量の推移

(3) 生活系及び事業系ごみの排出量

生活系及び事業系ごみの排出量の推移は、表2-5のとおりである。平成24年度は前年度と比べ、生活系ごみは減少しており、事業系ごみは横ばいである。

表2-5 生活系及び事業系ごみの排出量の推移

(単位：t/年)

年 度	20	21	22	23	24
生活系ごみ	607,683	603,493	581,838	587,595	583,874
事業系ごみ	345,408	332,903	332,167	332,435	332,456
合計(排出量)	953,091	936,396	914,005	920,030	916,330

(注) 県外分は含まない。

(4) 集団回収量

生活系ごみのうち、古紙類、空き缶など直接資源化が可能なものについては、市町等によるごみ収集されず、自治会などの住民団体による集団回収で収集され、資源化されている。

平成24年度における集団回収量(集団回収のうち、市町等が関与し把握しているものの量をいう。以下同じ。)は、25,211tであり、集団回収量を加味したごみの排出量は、941,541t(1人1日当たり894g)である。

集団回収量及び集団回収量を加味した排出量の推移は、表2-6のとおりである。

表2-6 集団回収量及び集団回収量を加味した排出量の推移

(単位：t/年)

年 度	20	21	22	23	24
集団回収量	28,264	27,248	27,305	26,204	25,211
集団回収量を 加味した排出量	981,355	963,644	941,310	946,234	941,541
生活系	635,947	630,741	609,143	613,799	609,085
事業系	345,408	332,903	332,167	332,435	332,456
集団回収量を加味した 1人1日あたりの排出量 (g/人・日)	939	923	902	906	894

(注) 1 集団回収量は、市町等が関与し回収量を把握しているものについて計上している。

2 集団回収量を加味した排出量 = (収集量) + (直接搬入量) + (集団回収量)

3 生活系・事業系の内訳において、集団回収量は生活系として計上した。

※ 国が公表する全国集計では、平成17年度分の公表時から、集団回収量を加味した排出量を「ごみ総排出量」と位置づけている。

市町別の収集量、直接搬入ごみ量、自家処理量、集団回収量及び収集形態別収集量は、IV資料編の資料一表9及び表10に示すとおりである。

4 処理量

(1) 処理量の推移

平成 24 年度における県内のごみ処理量は 916,364 t（愛媛県今治市からの受託分 145t を含む。）で、その内訳は、直接埋立量が 29,552t（3.2%）、直接焼却量が 605,571t（66.1%）、焼却以外の中間処理量が 267,149t（29.2%）、直接資源化量が 14,092t（1.5%）である。

以上の処理量の推移は、表 2-7 及び図 2-5 のとおりである。

表 2-7 ごみ処理量の推移

（単位：t/年）

年 度	直接埋立量	直接焼却量	焼却以外の中間処理量	直接資源化量	合 計
20	32,986	624,956	280,166	15,124	953,232
21	36,876	611,092	273,807	14,766	936,541
22	27,392	597,567	274,057	14,979	913,995
23	27,854	604,175	274,939	14,627	921,595
24	29,552	605,571	267,149	14,092	916,364

（注） 1 数値には県外からの受託分を含む。

2 可燃ごみを焼却施設へ運搬するために圧縮処理するものは、直接焼却量に含む。

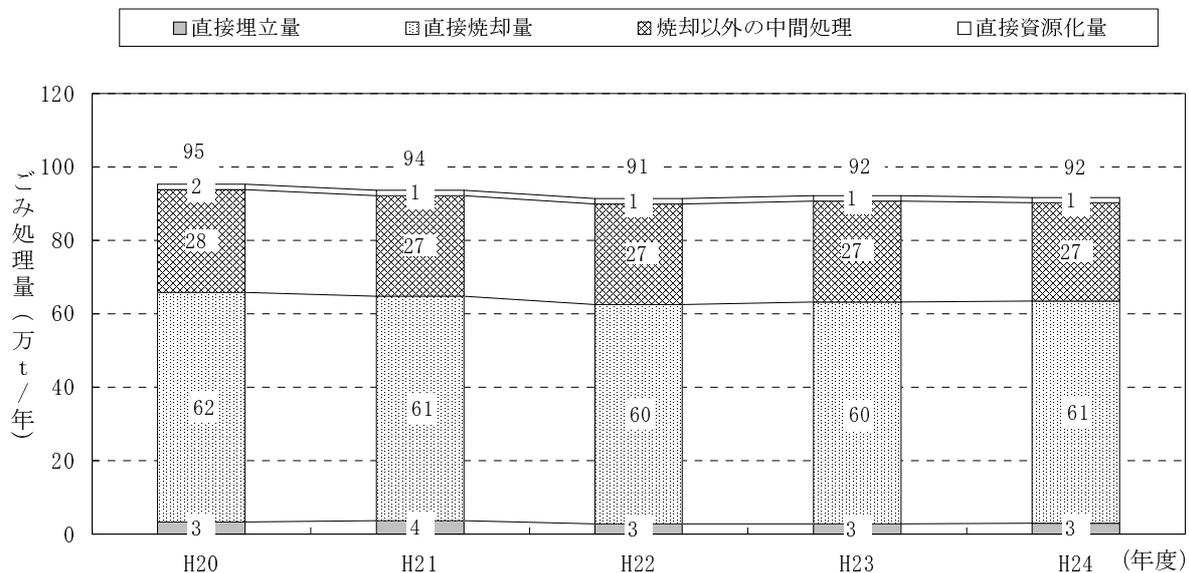


図2-5 ごみ処理量の推移

(2) 処理方法別の処理量の推移

ごみ処理量を埋立量、焼却量、資源化量の3種類に分類した場合の量の推移は、表2-8のとおりである。

直接埋立を行っていたごみは、分別資源化による減量化、可燃ごみの燃料化処理や焼却残渣の熔融処理、セメント原料化等による資源化などにより、平成15年度以降、埋立量が大幅に減少し、最近ではほぼ横ばいである。

また、直接焼却量についても、可燃ごみの燃料化処理の本格的な稼働により、平成16年度以降、大幅に減少し、最近ではほぼ横ばいである。

市町別の処理方法別の処理量は、IV資料編の資料-表11に示すとおりである。

表2-8 埋立量、焼却量及び資源化量の推移

(単位：t/年)

区 分		年 度				
		20	21	22	23	24
埋 立 量	①直接埋立量	32,986	36,876	27,392	27,854	29,552
	⑤焼却残渣の埋立量	55,880	53,836	53,597	65,755	70,297
	⑦処理残渣の埋立量	20,858	20,155	17,229	17,566	17,067
	合 計	109,724	110,867	98,218	111,175	116,916
焼 却 量	②直接焼却量	624,956	611,092	597,567	604,175	605,571
	⑥処理残渣の焼却量	28,565	27,429	27,632	26,086	26,179
	合 計	653,521	638,521	625,199	630,261	631,750
資 源 化 量	④直接資源化量	15,124	14,766	14,979	14,627	14,092
	⑧焼却施設からの資源化量	20,456	24,145	23,762	15,934	9,124
	⑨焼却以外の中間処理施設からの資源化量	168,166	164,476	163,308	163,572	159,651
	合 計	203,746	203,387	202,049	194,133	182,867

(注) 1 県外からの受託分を含む。

2 区分欄の番号は、7ページのごみ処理フローシートの番号と同一である。

5 ごみ処理施設の整備状況と処理実績

(1) 施設整備状況

本県におけるごみ処理施設の整備状況は、表2-9のとおりである。

平成24年度中に稼働実績がある焼却施設は、全部で26施設あり、機械化バッチ式が7施設、準連続式が8施設、全連続式が11施設ある。資源化等を行う施設は27施設、粗大ごみ処理施設は14施設、燃料化処理施設は7施設、保管施設は34施設ある。

表2-9 ごみ処理施設の施設数及び処理能力の推移

区 分		年 度				
		20	21	22	23	24
焼 却 施 設	固定バッチ式 (施設数)	1	1	1	1	0
	能力 (t/日)	26	26	26	26	0
	機械化バッチ式 (施設数)	7	7	7	7	7
	能力 (t/日)	164	164	164	164	164
	準連続式 (施設数)	8	8	8	8	8
	能力 (t/日)	604	604	604	604	604
	全連続式 (施設数)	10	10	10	10	11
	能力 (t/日)	2,195	2,120	2,195	2,195	2,595
	計 (施設数)	26	26	26	26	26
	能力 (t/日)	2,989	2,914	2,989	2,989	3,363
資源化等を行う施設 (施設数)	30	29	27	28	27	
能力 (t/日)	635	620	589	596	592	
粗大ごみ処理施設 (施設数)	14	14	14	14	14	
能力 (t/日)	401	401	399	399	399	
燃料化処理施設 (施設数)	7	7	7	7	7	
能力 (t/日)	550	550	550	550	550	
保管施設 (施設数)	34	35	34	34	34	
能力 (㎡)	14,353	14,542	15,637	16,021	16,136	
合 計 (施設数)	111	111	108	109	108	
能力 (t/日)	4,575	4,485	4,527	4,534	4,904	
能力 (㎡)	14,353	14,542	15,637	16,021	16,136	

(注) 1 各年度中に稼働実績がある施設を計上している。

2 焼却施設の区分は次のとおりである。

- ・ 固定バッチ式 … 固定された火格子により間欠焼却を行う方式で、1日8時間稼働。
- ・ 機械化バッチ式 … 固定バッチの一部を機械化し間欠焼却を行う方式で、1日8時間稼働。
- ・ 準連続式 … 連続焼却を行う方式で、1日16時間稼働。
- ・ 全連続式 … 連続焼却を行う方式で、24時間連続稼働。

※ 連続焼却方式：ごみの供給、移動・攪拌、焼却灰の排出等が連続的に機械装置で運転管理できる施設。

(2) 処理実績

本県におけるごみ処理施設（焼却施設・資源化施設・粗大ごみ処理施設・燃料化処理施設・保管施設）の位置図は、図2-6から図2-8、処理実績等の一覧表は、表2-10から表2-14のとおりである。

【凡 例】

○ 1 ～ ○ 26 : 施設番号 (焼却施設)

□ 1 ～ □ 7 : 施設番号 (燃料化处理施設)

組合名 : 一部事務組合構成区域

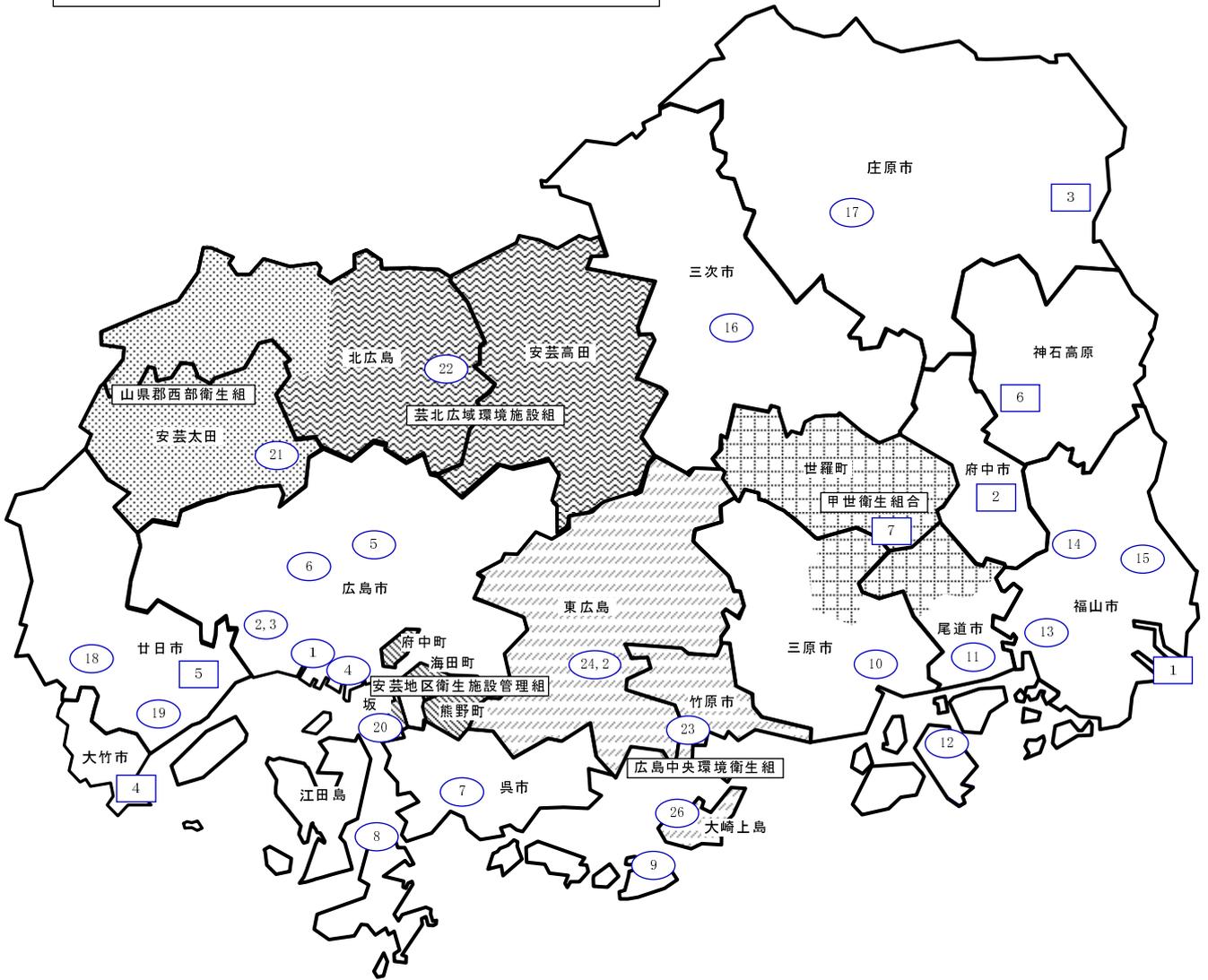


図 2 - 6 焼却施設及び燃料化处理施設の位置図
(平成 24 年度末現在)

【凡例】

○ 1 ~ ○ 34 : 施設番号 (保管施設)

■ 組合名 : 一部事務組合構成区域

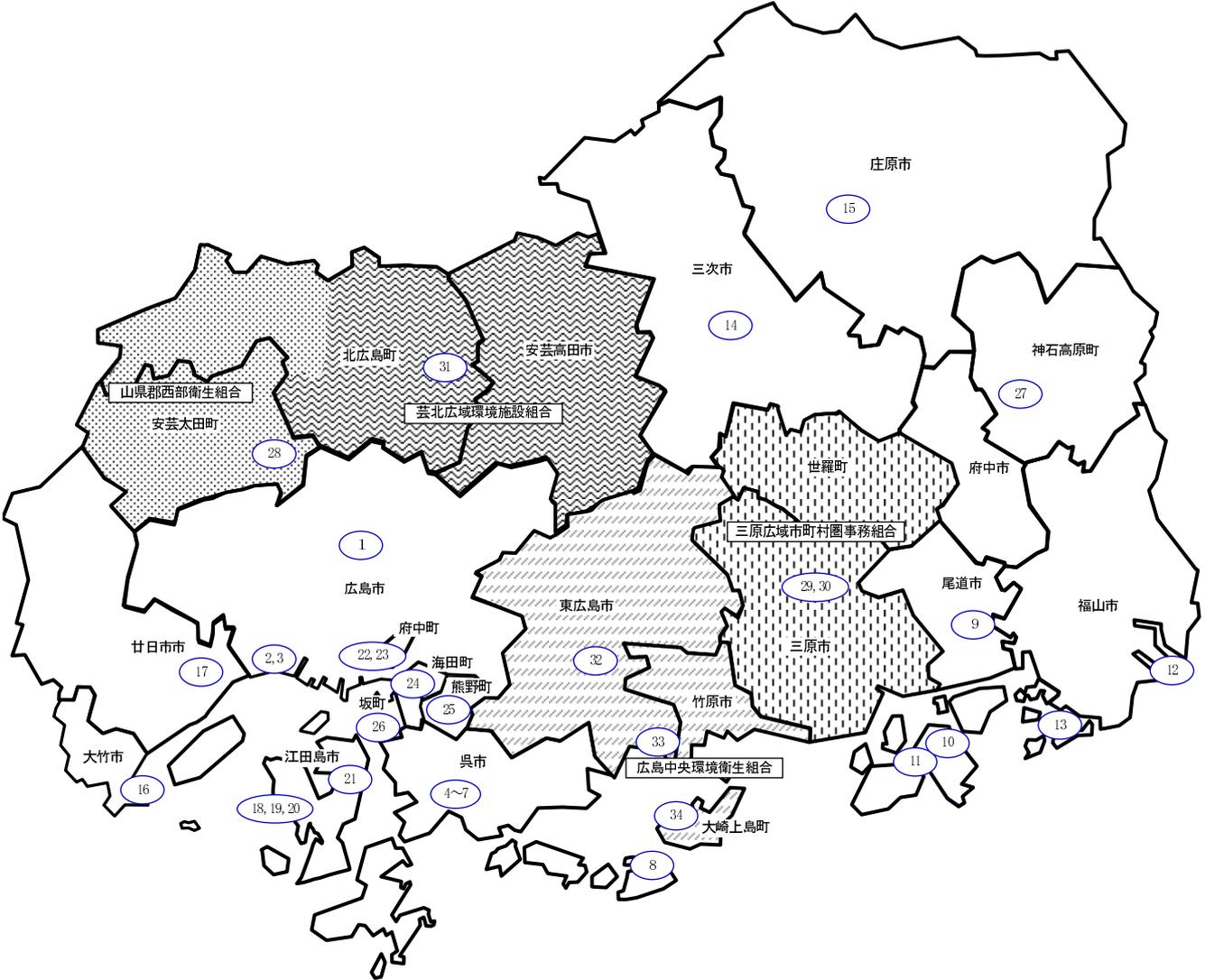


図 2 - 8 保管施設の位置図
(平成 24 年度末現在)

表 2-10 焼却施設及び処理実績等一

施設番号	処理方式	市 町 事務組合 名	所 在 地	施 設 名	使用開始年度	処 理 対 象							
						混合ごみ	可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	粗大ごみ	処理残さ	その他	
1	全	広島市	広島市中区南吉島一丁目4-2	広島市中工場	2003	○					○		
2	全	広島市	広島市佐伯区五日市町石内1979	広島市佐伯工場(1系)	1980	○							
3	全	広島市	広島市佐伯区五日市町石内1979	広島市佐伯工場(2・3系)	1984	○							
4	全	広島市	広島市南区東雲三丁目17-1	広島市南工場	1988	○					○		
5	全	広島市	広島市安佐北区可部町中島1460-1	広島市安佐北工場	1990	○					○		
6	全	広島市	広島市安佐南区沼田町大字伴字赤迫3990	安佐南工場焼却施設	2013	○					○		
7	全	呉市	呉市多賀谷三丁目9-2	クリーンセンターくれ (第3工場)	2002	○							
8	機	呉市	呉市音戸町渡子一丁目5-25	日附環境美化センター	1995	○							
9	機	呉市	呉市豊町大長6329-1	芸予環境衛生センター (ごみ処理施設)	1997	○							
10	准	三原市	三原市八坂町227	三原市清掃工場	1999	○				○			
11	准	尾道市	尾道市長者原一丁目220-75	尾道市クリーンセンター	1994	○					○		
12	准	尾道市	尾道市重井町5334	尾道市因瀬クリーンセンター	1990	○					○		
13	全	福山市	福山市赤坂町赤阪521	福山市新西部清掃工場	1980	○							
14	機	福山市	福山市新市町下安井3328-6	福山市新市クリーンセンター	1994	○							
15	准	福山市	福山市神辺町上御領3000-7	福山市深品クリーンセンター	1994	○				○			
16	准	三次市	三次市廻神町1820-12	三次環境クリーンセンター	1996	○					○		
17	機	庄原市	庄原市一木町境ヶ谷266-2	庄原市備北クリーンセンター	2001	○					○		
18	機	廿日市市	廿日市市浅原甲524	廿日市市佐伯クリーンセンター	1999	○							
19	准	廿日市市	廿日市市大野1815-24	廿日市市大野清掃センター	1997	○							
20	全	安芸地区	坂町1322-8	安芸クリーンセンター	2002	○				○	○		
21	機	山県郡西部	安芸太田町大字穴黒峠	ポックルくろだおクリーンセンター	1996	○					○		
22	准	芸北広域	北広島町川井字津々羅谷1080-18	芸北広域きれいセンター 可燃ごみ処理施設	1995	○					○		
23	准	広島中央	竹原市吉名町山租2654	竹原安芸津環境センター	1991	○				○	○		
24	全	広島中央	東広島市西条町上三永766-1	賀茂環境衛生センター (1号炉, 2号炉)	1985	○				○	○		
25	全	広島中央	東広島市西条町上三永766-1	賀茂環境衛生センター (3号炉)	2001	○				○	○		
26	機	広島中央	大崎上島町大串19-1	大崎上島環境センター	1991	○					○		
(注) 1. 処理方式 「固」固定バッチ, 「機」機械化バッチ, 「准」准連続, 「全」全連続 2. 施設改廃等 「建設」建設中, 「変無」能力変更なし, 「能変」能力変更あり											固	0 施設	
												機	7 施設
												准	8 施設
												全	11 施設
												計	26 施設

公称能力 (t/日)	基数 (基)	年間処理量 (t/年度)	余熱利用の状況	資源化量 (t/年度)	発電能力 (kW)	発電効率 (公称) (%)	総発電量 (MWh)	灰処理設備		施設改廃等	運転管理体制
								焼却灰	飛灰		
600	3	148,410	場内温水 場内蒸気 場外温水 発電(場内利用, 場外利用)	250	15,200	12	54,079	溶融処理 その他	溶融処理 その他	変無	委託
45	1	1,779	利用無し	0				無し	薬剤処理	変無	委託
90	2	16,683	場内温水	0				無し	薬剤処理	変無	委託
300	2	62,927	場内温水 場内蒸気 場外温水 発電(場内利用, 場外利用)	0	1,400	7	10,091	薬剤処理	薬剤処理	変無	委託
200	2	46,150	場内温水 場内蒸気 発電(場内利用, 場外利用)	0	1,100	6	4,733	無し	薬剤処理	変無	委託
400	2	4,615	場内温水 場内蒸気 発電(場内利用, 場外利用)	18	10,760	18	2,714	薬剤処理	薬剤処理	新設(建設中)	委託
380	3	71,707	場内温水 場外温水 発電(場内利用, 場外利用)	492	7,000	15	27,364	溶融処理	セメント固化 薬剤処理	変無	委託
31	2	4,441	場内温水	0				無し	薬剤処理	変無	直営
7	1	1,095	利用無し	0				無し	薬剤処理	変無	直営
120	2	32,354	場内温水	0				その他	セメント固化 薬剤処理	変無	一部委託
120	2	32,869	場内温水 場外温水	0				薬剤処理	薬剤処理	変無	委託
50	2	9,246	場内温水 場外温水	0				薬剤処理	薬剤処理	変無	直営
150	2	23,436	利用無し	0				無し	薬剤処理	変無	一部委託
30	2	4,822	利用無し	0				無し	薬剤処理	変無	一部委託
80	2	17,152	場内温水	0				薬剤処理	薬剤処理	変無	委託
60	2	11,767	場内温水	0				無し	薬剤処理	変無	委託
40	2	6,669	利用無し	0				無し	薬剤処理	変無	直営
15	2	2,682	場内温水 場内蒸気	0				無し	薬剤処理	変無	委託
60	2	8,658	場内温水 場内蒸気	0				無し	セメント固化 薬剤処理	変無	委託
130	2	31,645	場内温水 場内蒸気 発電(場内利用)	2,053	1,300	10	7,865	その他	無し	変無	委託
26	2	1,589	利用無し	0				無し	薬剤処理	変無	直営
44	2	10,387	場外温水	0				無し	セメント固化 薬剤処理	変無	一部委託
70	2	10,027	場内温水 その他	0				無し	セメント固化	変無	委託
150	2	15,807	利用無し	0				無し	薬剤処理	変無	委託
150	1	38,086	場内温水	0				無し	薬剤処理	変無	委託
15	2	1,879	場内温水	0				無し	薬剤処理	変無	直営
0	0	0		0	0		0				
164	13	23,177		0	0		0				
604	16	132,460		0	0		0				
2,595	22	461,245		2,813	36,760		106,846				
3,363	51	616,882		2,813	36,760		106,846				

表 2-11 資源化等を行う施設及び処理実績等一覧表

施設番号	市町事務組合名	所在地	施設名	使用開始年度
1	広島市	広島市西区商工センター七丁目7-2	広島市西部リサイクルプラザ	1997
2	広島市	広島市安佐北区安佐町筒瀬1022	広島市北部資源選別センター	1990
3	広島市	広島市安佐北区安佐町筒瀬2030	広島市植木せん定枝リサイクルセンター	1999
4	呉市	呉市広多賀谷三丁目9	呉市資源化施設	1998
5	呉市	呉市豊町大長6329-1	芸予環境衛生センター	1997
6	尾道市	尾道市美ノ郷町三成149-11	尾道市ストックヤードPET減容施設	1999
7	尾道市	尾道市因島大浜町1217-1	尾道市因島リサイクルセンター	1996
8	尾道市	尾道市美ノ郷町三成149-11	尾道市容器包装プラスチック工場	2011
9	福山市	福山市箕沖町107-2	福山クリーンセンター（リサイクル工場）	2000
10	福山市	福山市内海町新道644-1	福山市内海リサイクルセンター	1996
11	三次市	三次市廻神町1820-12	三次環境クリーンセンター	2000
12	庄原市	庄原市是松町20-25	庄原市リサイクルプラザ	2005
13	大竹市	大竹市東栄三丁目4	大竹市不燃物処理資源化施設	1989
14	廿日市市	廿日市市宮内3860	はつかいちリサイクルプラザ	2001
15	廿日市市	廿日市市浅原甲524	廿日市市佐伯不燃物処理作業場	2006
16	廿日市市	廿日市市宮島町1171-4	廿日市市宮島不燃物処理施設	1980
17	江田島市	江田島市沖美町岡大王718-1	江田島市環境センター（ビン・缶）	1998
18	江田島市	江田島市沖美町岡大王718-1	江田島市環境センター（ペットボトル）	2002
19	江田島市	江田島市江田島町鷺部四丁目1-13	江田島市リレーセンター（可燃ごみ）	2002
20	海田町	海田町国信二丁目18-1	海田町環境センター	1988
21	坂町	坂町2430	リサイクルセンター坂	2004
22	神石高原町	神石高原町階見1254-1	クリーンセンターじんせきストックヤード	2006
23	山県郡西部	安芸太田町加計穴黒峠	ポックルくろだおクリーンセンター	1996
24	三原広域	三原市久井町坂井原1358-82	再資源選別処理場	1993
25	三原広域	三原市久井町坂井原1358-82	廃棄物再生利用施設（プラスチック圧縮梱包施設）	2006
26	広島中央	東広島市黒瀬町国近427-24	賀茂環境センター（ペットボトル等処理施設）	2006
27	広島中央	大崎上島町大串19-1	大崎上島環境センター	1991

（注）施設改廃等：「建設」建設中、「変無」能力変更なし、「能変」能力変更あり

表 2-12 粗大ごみ処理施設及び処理実績等一覧表

施設番号	種類	市町事務組合名	所在地	施設名	使用開始年度
1	破	広島市	広島市安佐南区沼田町伴3990	広島市安佐南工場大型ごみ破碎処理施設	1992
2	併	呉市	呉市多賀谷三丁目9-2	クリーンセンターくれ（ごみ破碎選別施設）	2002
3	併	尾道市	尾道市長者原一丁目220-75	尾道市クリーンセンター	1994
4	併	尾道市	尾道市因島大浜町1217-1	尾道市因島リサイクルセンター	1996
5	併	三次市	三次市廻神町1820-12	三次環境クリーンセンター	1996
6	破	廿日市市	廿日市市宮内3860	廿日市市粗大ごみ処理施設	1990
7	破	廿日市市	廿日市市大野1815-24	廿日市市大野清掃センター	1997
8	破	廿日市市	廿日市市宮島町1171-4	廿日市市宮島粗大ごみ処理施設	1999
9	破	江田島市	江田島市沖美町岡大王718-1	江田島市環境センター（粗大）	1998
10	破	神石高原町	神石高原町階見1254-1	粗大ごみ処理施設	2010
11	破	安芸地区	坂町1322-8	安芸クリーンセンター	2002
12	圧	三原広域	三原市久井町坂井原1358-82	不燃物処理工場	2010
13	併	芸北広域	北広島町川井字津々羅谷1080-18	芸北広域きれいセンター 粗大ごみ処理施設	1996
14	併	広島中央	東広島市黒瀬町国近427-24	賀茂環境センター（粗大ごみ処理施設）	1990

（注）1. 種類
「破」は破碎、「圧」は圧縮、「併」は併用施設
2. 施設改廃等
「建設」建設中、「変無」能力変更なし、「能変」能力変更あり

処 理 対 象					公称能力 (t/日)	年 間 処 理 量 (t/年度)	資 源 回 収 量 (t/年度)	処 理 内 容				施 設 改 廃 等	運 転 管 理 制 体	備 考
可 燃 ご み	不 燃 ご み	資 源 ご み	粗 大 ご み	そ の 他				選 別	圧 縮 梱 包	堆 肥 化	そ の 他			
		○		○	90.0	18,301	13,805	○	○			変無	委託	
		○		○	50.0	10,079	7,839	○	○			変無	委託	
				○	25.0	966	965			○		変無	委託	
		○			4.0	7,502	7,366	○	○			変無	委託	
		○			0.2	187	174	○	○			変無	直営	
		○			7.0	0	0	○	○			休止	直営	H24休止
		○			4.0	351	351	○	○			変無	一部委託	
		○			4.8	1,666	1,666	○	○			変無	委託	
	○	○	○		170.0	11,925	5,455	○	○			変無	一部委託	
	○	○	○		1.6	216	120	○	○			変無	委託	
		○			7.0	754	692	○	○			変無	委託	
	○	○	○		15.0	2,051	1,387	○	○		○	変無	委託	
	○	○	○		11.0	2,037	1,875	○	○			変無	直営	
		○			24.0	2,373	1,986	○	○			変無	委託	
		○			3.0	312	312	○	○			変無	委託	
		○			25.0	27	27		○			変無	委託	
		○			7.0	432	301	○	○			変無	委託	
		○			0.35	47	37		○			変無	委託	
○					45.0	7,206	7,206		○			変無	委託	可燃ごみ圧縮施設
		○			10.0	109	109	○	○			変無	直営	
		○			4.0	623	623	○	○			変無	委託	
		○			8.0	20	20		○			変無	委託	
○	○	○	○		9.0	613	598	○	○			変無	直営	
	○	○	○		30.0	2,838	2,838	○				変無	委託	
		○			11.0	662	662	○	○			変無	委託	
		○			22.0	1,729	1,094	○	○			変無	委託	
	○	○	○	○	4.0	357	0	○				変無	委託	
計 27 施設					592.0	73,383	57,508							

処 理 対 象					公称能力 (t/日)	年 間 処 理 量 (t/年度)	資 源 回 収 量 (t/年度)	施 設 改 廃 等	運 転 管 理 制 体	備 考
可 燃 ご み	不 燃 ご み	資 源 ご み	粗 大 ご み	そ の 他						
			○		100.0	9,726	1,325	変無	委託	
	○		○		55.0	6,891	1,163	変無	委託	
	○	○	○		35.0	5,878	0	変無	委託	
		○	○		14.0	617	208	変無	一部委託	
	○	○	○	○	22.0	2,554	970	変無	委託	
			○		35.0	1,291	328	変無	委託	
			○		13.0	389	117	変無	委託	
			○		4.0	2	2	変無	委託	
			○		8.0	1,011	324	変無	委託	
	○		○		3.2	54	1	変無	委託	
			○		6.0	1,651	0	変無	委託	
	○	○	○		50.0	818	818	変無	委託	
	○	○	○		14.0	1,264	1,113	変無	直営	
	○	○	○	○	40.0	4,590	2,037	変無	委託	
破砕 7 施設					169.2	14,124.0	2,097.0			
圧縮 1 施設					50.0	818.0	818.0			
併用 6 施設					180.0	21,794.0	5,491.0			
計 14 施設					399.2	36,736.0	8,406.0			

表 2-13 燃料化処理施設及び処理実績等一覧表

施設番号	市町村事務組合名	所在地	施設名	使用開始年度
1	福山市	福山市箕沖町107-7	福山市ごみ固形燃料工場	2004
2	府中市	府中市鶴飼町74-2	府中市クリーンセンター	2002
3	庄原市	庄原市東城町久代6671-2	庄原市東城クリーンセンターごみ固形燃料化施設	2002
4	大竹市	大竹市東栄3-3	大竹市ごみ固形化燃料施設	2003
5	廿日市市	廿日市市宮内3860	エコセンターはつかいち	2004
6	神石高原町	神石高原町階見1254-1	クリーンセンターじんせき	2002
7	甲世衛生	世羅町川尻781-19	エコワイズセンター	1998

(注) 施設改廃等：「建設」建設中、「変無」能力変更なし、「能変」能力変更あり

表 2-14 保管施設及び保管実績等一覧表

施設番号	市町村事務組合名	所在地	施設名	使用開始年度
1	広島市	広島市安佐北区安佐町筒瀬1022	広島市北部資源選別センター	1990
2	広島市	広島市西区商工センター七丁目7-2	広島市西部リサイクルプラザ	1997
3	広島市	広島市西区商工センター七丁目7-1	広島市資源ごみ選別施設	1998
4	呉市	呉市広多賀谷三丁目地先	呉市缶類資源化施設	2000
5	呉市	呉市広多賀谷三丁目地先	呉市紙類ストックヤード	2000
6	呉市	呉市広多賀谷三丁目地先	呉市ペットボトルストックヤード	2000
7	呉市	呉市広多賀谷三丁目地先	呉市カレットストックヤード	1998
8	呉市	呉市豊町大長3629-1	芸予環境衛生センター(ストックヤード)	2002
9	尾道市	尾道市美ノ郷町三成149-1	尾道市ストックヤードPET減容施設	1999
10	尾道市	尾道市因島大浜町1217-1	尾道市因島リサイクルセンター	1996
11	尾道市	尾道市因島重井町5334	尾道市因瀬クリーンセンター	1990
12	福山市	福山市箕沖町107-2	福山クリーンセンター(リサイクル工場)	2000
13	福山市	福山市内海町662	福山市内海最終処分場(保管施設)	2001
14	三次市	三次市廻神町1820-12	三次環境クリーンセンター	1996
15	庄原市	庄原市是松町20-25	庄原市リサイクルプラザ	2005
16	大竹市	大竹市東栄三丁目4	大竹市不燃物処理場	1989
17	廿日市市	廿日市市宮内3860	はつかいちリサイクルプラザ	2001
18	江田島市	江田島市沖美町岡大王718-1	江田島市環境センター(カレット)	1998
19	江田島市	江田島市沖美町岡大王718-1	江田島市環境センター(ペットボトル)	2002
20	江田島市	江田島市沖美町岡大王718-1	江田島市環境センター(鉄・アルミ缶)	2002
21	江田島市	江田島市江田島町鷺部四丁目1-13	江田島市環境リレーセンター(ストックヤード)	2009
22	府中町	府中町八幡四丁目1-1	府中町環境センター	1981
23	府中町	府中町八幡四丁目1-1	府中町リサイクルセンター	1999
24	海田町	海田町国信二丁目-18-1	海田町環境センター	1988
25	熊野町	熊野町深原平2682-73	熊野町環境センターストックヤード	2006
26	坂町	坂町2430	リサイクルセンター坂	2004
27	神石高原町	神石高原町階見1254-1	クリーンセンターじんせきストックヤード	2006
28	山県郡西部	安芸太田町大字穴黒峠	ポックルくろだおクリーンセンター	1996
29	三原広域	三原市久井町坂井原1358-82	不燃物処理工場	1974
30	三原広域	三原市久井町坂井原1358-82	廃棄物再生利用施設(プラスチック圧縮梱包施設)	2006
31	芸北広域	北広島町川井字津々羅谷1080-18	芸北広域きれいセンター スtockヤード施設	2002
32	広島中央	東広島市黒瀬町国近427-24	賀茂環境センター	1990
33	広島中央	東広島市安芸津町木谷1620-1	竹原安芸津最終処分場	1995
34	広島中央	大崎上島町沖浦106-10	沖浦古紙ストックヤード	2006

(注) 施設改廃等：「建設」建設中、「変無」能力変更なし、「能変」能力変更あり

処 理 対 象						供 給 先 の 状 況	公称能力 (t/日)	年 間 処 理 量 (t/年度)	燃 料 製 造 量 (t/年度)	施 設 改 廢 等	運 轉 管 理 制 体	備 考
可 燃 ご み	不 燃 ご み	資 源 ご み	粗 大 ご み	そ の 他	処 理 残 さ							
○					○	発 電 用	300.0	89,156	50,605	変 無	一 部 委 託	
○			○			発 電 用	60.0	7,762	3,464	変 無	委 託	
○						発 電 用	19.0	1,673	850	変 無	直 営	
○					○	発 電 用	42.0	7,202	3,910	変 無	委 託	
○					○	発 電 用	102.0	20,379	11,490	変 無	委 託	
○						発 電 用	11.0	1,073	488	変 無	委 託	
○			○			発 電 用	16.0	3,597	1,831	変 無	直 営	
計 7 施 設							550.0	130,842	72,638			

保 管 対 象						保 管 面 積			年 間 保 管 量 (t/年度)	保 管 分 類 数	施 設 改 廢 等	運 轉 管 理 制 体	備 考
紙	金 属	ガ ラ ス	ペ ン ト ボ ト ル	プ ラ ス チ ッ ク	そ の 他	屋 内 (㎡)	屋 外 (㎡)	合 計 (㎡)					
○	○	○			○	1,159	0	1,159	10,079	4	変 無	委 託	
○	○	○			○	1,215	0	1,215	18,301	4	変 無	委 託	
			○			84	0	84	217	1	変 無	委 託	
	○					400	0	400	508	2	変 無	委 託	
○						250	0	250	4,878	4	変 無	委 託	
			○			200	0	200	382	1	変 無	委 託	
		○				0	196	196	1,498	3	変 無	委 託	
○		○				140	2,577	2,717	167	7	変 無	直 営	
			○			299	1,774	2,073	200	1	変 無	直 営	
	○	○			○	233	262	495	559	13	変 無	一 部 委 託	
○			○			42	111	153	1,174	5	変 無	直 営	
			○	○		288	0	288	4,921	2	変 無	一 部 委 託	
			○	○		36	0	36	27	2	変 無	委 託	
○	○	○	○	○	○	198	0	198	4,092	8	変 無	委 託	
○	○	○	○	○	○	140	0	140	2,051	9	変 無	委 託	
○	○	○	○	○		400	300	700	1,875	6	変 無	直 営	
○	○	○	○	○	○	292	0	292	2,373	9	変 無	委 託	
		○				53	0	53	171	3	変 無	委 託	
			○			125	0	125	37	1	変 無	委 託	
	○					40	0	40	130	2	変 無	委 託	
○					○	180	0	180	880	4	変 無	委 託	
○	○	○			○	72	211	283	1,235	7	能 変	一 部 委 託	
○			○	○		273	0	273	82	3	変 無	委 託	
○	○	○	○	○	○	138	50	188	1,155	5	変 無	直 営	
○	○	○	○	○	○	574	0	574	1,362	8	変 無	委 託	
○	○	○	○		○	242	0	242	623	12	変 無	一 部 委 託	
	○	○				150	0	150	48	4	変 無	委 託	
○	○	○	○	○	○	412	0	412	598	6	変 無	直 営	
	○	○	○		○	189	52	241	2,176	4	変 無	委 託	
				○		34	0	34	662	1	変 無	委 託	
○			○	○		105	21	126	127	3	変 無	直 営	
	○	○			○	212	0	212	2,517	4	変 無	委 託	
○	○		○	○	○	272	1,428	1,700	1,746	12	変 無	委 託	
○						707	0	707	455	3	変 無	委 託	
計 34 施 設						9,154	6,982	16,136	67,306				

6 最終処分場の整備状況と埋立実績

(1) 整備状況

市町及び一部事務組合における最終処分場の状況は、表2-15のとおりである。

過去3年間における埋立実績の平均から推計すると、約20年分の残余容量がある。

新たな最終処分場の整備については、住民合意が得られにくいなどの問題により、整備が難しいことから、ごみの減量化及び資源化を一層促進して残余容量の確保を図るとともに、処分場の計画的な整備を行う必要がある。

表2-15 最終処分場の状況

最終処分場数				埋立地面積 (m ²)	全体容量 (m ³)	残余容量 (m ³)	埋立実績 (m ³ /年)	残余年数 (年)
山間	平地	海面	計					
19	5	1	25	917,286	8,623,412	2,318,382	131,199	20

(注) 1 最終処分場の区分は次のとおりである。

- ・山間 … 山間の谷間（空間）を利用した最終処分場。
- ・平地 … 陸上の平地を掘削して設置された最終処分場。
- ・海面 … 水面部に設置された最終処分場のうち、海面埋立のもの。

2 最終処分場の容量の残余年数は、次のとおり算出した。

埋立実績：平成22年度 101,675m³、平成23年度 118,063m³、平成24年度 131,199m³

過去3年間の平均埋立量：(101,675m³ + 118,063m³ + 131,199m³) / 3年 = 116,979m³

残余年数：2,318,382m³ / 116,979m³ = 19.8年

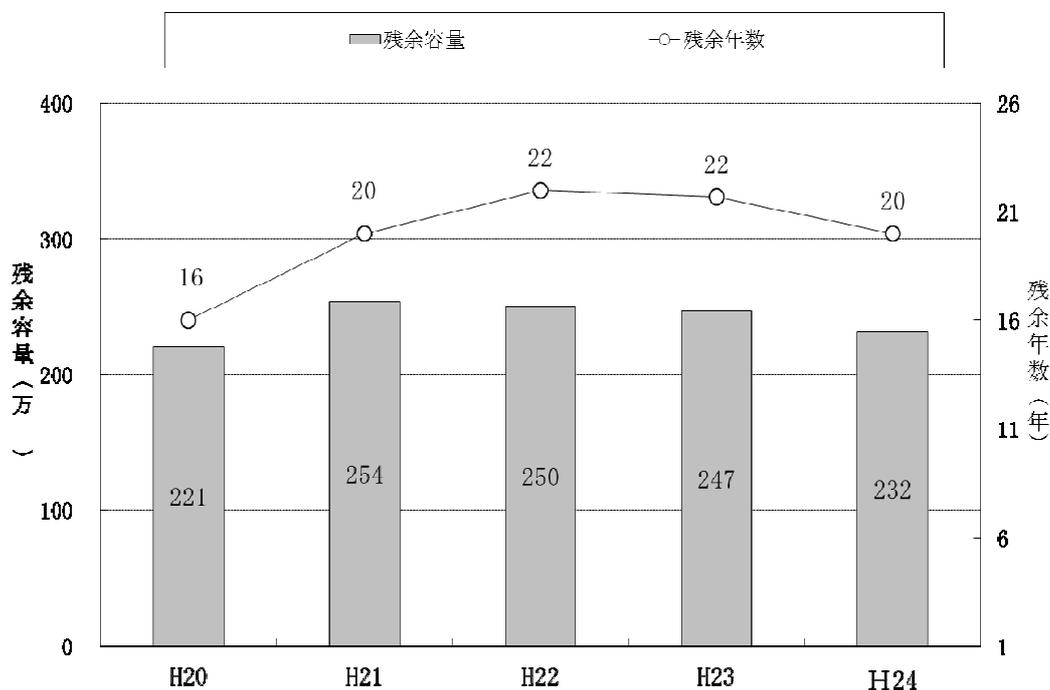


図2-9 残余容量及び残余年数の推移

(2) 埋立実績

本県における最終処分場の位置図は図2-10、埋立実績等の一覧表は表2-16のとおりである。



図2-10 最終処分場の位置図
(平成24年度末現在)

表 2-16 最終処分場及び埋立実績等一覧表

施設番号	埋立場所	市町村事務組合名	所在地	施設名	埋立開始年度
1	山間	広島市	広島市安佐北区安佐町筒瀬2030	広島市玖谷埋立地	1990
2	海面	呉市	呉市多賀谷地先	呉市埋立処理場	1987
3	山間	三原市	三原市八坂町227	三原市一般廃棄物最終処分場	1998
4	山間	尾道市	尾道市原田町梶山田1909	尾道市最終処分場(原田町)	2002
5	山間	尾道市	尾道市因島大浜町1217-1	尾道市因島一般廃棄物最終処分場	1996
6	山間	尾道市	尾道市瀬戸町名荷2221	尾道市瀬戸田名荷埋立処分地	1991
7	平地	福山市	福山市箕沖町107-4	福山市新箕沖埋立地	1989
8	平地	福山市	福山市箕沖町107-3	福山市箕沖埋立地	1978
9	平地	福山市	福山市柳津町2285	福山市慶応浜埋立地	1981
10	山間	福山市	福山市内海町662	福山市内海最終処分場	1994
11	山間	福山市	福山市新市町下安井3328-6	福山市新市クリーンセンター最終処分埋立地	1994
12	山間	福山市	福山市神辺町上御領300-13	福山市深品クリーンセンター最終処分場	2000
13	山間	府中市	府中市諸毛町岩後231	府中市埋立センター	1989
14	山間	三次市	三次市栗屋町3505	一般廃棄物下荒瀬最終処分場	1993
15	平地	庄原市	庄原市是松町20-26	庄原市一般廃棄物最終処分場	2005
16	山間	廿日市市	廿日市市宮内3860	廿日市市一般廃棄物最終処分場	1992
17	山間	廿日市市	廿日市市大野2715-2	廿日市市佐伯一般廃棄物最終処分場	1994
18	山間	廿日市市	廿日市市大野1814-22	廿日市市大野一般廃棄物最終処分場	1994
19	山間	廿日市市	廿日市市宮島町包ヶ浦1153-12	廿日市市宮島一般廃棄物最終処分場(現有)	1988
20	山間	廿日市市	廿日市市宮島町包ヶ浦1153-12	廿日市市宮島一般廃棄物最終処分場(新設)	2000
21	山間	江田島市	江田島市沖美町岡大王718番地1	江田島市環境センター(第2埋立地)	1994
22	山間	神石高原町	神石高原町有木7170-2	グリーンセンター陽光	2005
23	平地	甲世衛生	世羅町川尻781-20	甲世衛生組合最終処分場	1987
24	山間	広島中央	東広島市黒瀬町国近427-24	賀茂環境センター(2工区)	2006
25	山間	広島中央	東広島市安芸津町木谷1620-1	竹原安芸津最終処分場	1995
(注) 施設改廃等: 「建設」建設中, 「変無」能力変更なし, 「能変」能力変更あり					

表 2-17 その他の施設(ごみの中間処理施設)及び処理実績等一覧表

施設番号	市町村事務組合名	所在地	施設名	使用開始年度
1	呉市	呉市川尻町水落1018番地	呉東部中継センター	2003
(注) 施設改廃等: 「建設」建設中, 「変無」能力変更なし, 「能変」能力変更あり				

埋立物							埋立地面積 (m ²)	全体容量 (m ³)	残余容量 (m ³)	埋立実績 (m ³)	埋立終了 年度 (予定)	浸出水 処理施設	し ゃ 水 工	処 分 場 の 現 状	施 設 改 廢 等	運 転 管 理 体 制
可 燃	不 燃	資 源	そ の 他	粗 大	処 理 残 さ	焼 却 残 さ										
	○				○	○	146,000	3,500,000	847,000	72,500	2019	有	有	埋立中	変無	一部委託
					○	○	184,000	1,003,010	0	5,169	2012	有	有	埋立終了	変無	直営
					○	○	22,000	163,000	57,658	5,870	2023	有	有	埋立中	変無	一部委託
						○	23,000	194,000	147,897	5,323	2017	有	有	埋立中	変無	委託
	○				○	○	10,700	80,000	36,136	1,581	2011	有	有	埋立中	変無	一部委託
					○		10,100	54,000	39,347	400	2021	有	有	埋立中	変無	委託
			○		○	○	85,000	628,000	260,766	0	2027	有	有	埋立中	変無	直営
			○		○	○	165,000	1,495,000	122,103	11,793	2023	有	有	埋立中	変無	直営
			○			○	41,000	155,800	9,926	217	2021	有	有	埋立中	変無	直営
			○		○		3,000	10,700	5,316	17	2030	有	有	埋立中	変無	委託
	○					○	7,200	60,000	46,328	537	2030	有	有	埋立中	変無	一部委託
						○	8,700	75,000	49,060	2,002	2035	有	有	埋立中	変無	委託
	○					○	27,800	149,700	54,756	2,804	2026	有	有	埋立中	変無	委託
			○		○	○	57,000	154,000	81,495	2,211	2023	有	有	埋立中	変無	委託
					○		1,166	7,100	6,018	201	2019	有	有	埋立中	変無	委託
	○				○	○	18,000	150,000	80,121	1,368	2041	有	有	埋立中	変無	委託
	○				○	○	3,400	11,400	0	151	2013	有	有	埋立終了	変無	委託
	○		○			○	30,000	221,000	183,633	1,775	2013	有	有	埋立中	変無	委託
					○	○	5,400	29,800	0	0	2006	無	有	埋立終了	変無	直営
	○				○	○	6,700	33,000	28,077	1,121	2015	有	有	埋立中	変無	一部委託
	○				○	○	15,700	93,000	30,561	466	2020	有	有	埋立中	変無	委託
	○		○		○		1,150	7,600	6,431	608	2019	有	有	埋立中	変無	直営
	○				○	○	1,270	3,302	40	13	2015	有	有	埋立中	変無	直営
			○		○	○	12,000	195,000	142,613	10,117	2023	有	有	埋立中	変無	委託
	○		○		○	○	32,000	150,000	83,100	4,955	2025	有	有	埋立中	変無	委託
山間 19 施設							439,850	5,331,200	1,919,529	113,806						
平地 5 施設							293,436	2,289,202	398,853	12,224						
海面 1 施設							184,000	1,003,010	0	5,169						
計 25 施設							917,286	8,623,412	2,318,382	131,199						

処 理 対 象					公称能力 (t/日)	年 間 処 理 量 (t/年度)	処 理 内 容			施 設 改 廢 等	運 転 管 理 体 制	備 考
可 燃 ご み	不 燃 ご み	資 源 ご み	粗 大 ご み	そ の 他			破 碎	圧 縮 梱 包	そ の 他			
○	○		○		30.0	5,056			○	変無	直営	可燃ごみ圧縮施設
計 1 施設					30.0	5,056						

7 資源化の状況

(1) 資源化率及びリサイクル率

平成 24 年度の資源化率は 20.0%，リサイクル率は 22.1% で、前年度と比べてどちらも減少した。

表 2-18 ごみ処理における資源化率及びリサイクル率の推移

年 度	20	21	22	23	24	全国平均 (平成 23 年度)
資源化率 (%)	21.4	21.7	22.1	21.1	20.0	15.5
リサイクル率 (%)	23.6	23.9	24.4	23.3	22.1	20.4
リサイクル率 (%) (ごみ燃料化量を除く)	16.0	16.4	16.5	15.2	14.3	19.6

- (注) 1 資源化率 (%) = (ごみ資源化量) / (ごみ処理量) × 100
 2 リサイクル率 (%) = [(ごみ資源化量) + (集団回収量)] / [(ごみ処理量) + (集団回収量)] × 100
 3 リサイクル率 (ごみ燃料化量を除く) (%) = [(ごみ燃料化量を除いたごみ資源化量) + (集団回収量)] / [(ごみ処理量) + (集団回収量)] × 100
 4 県外分は含まない。

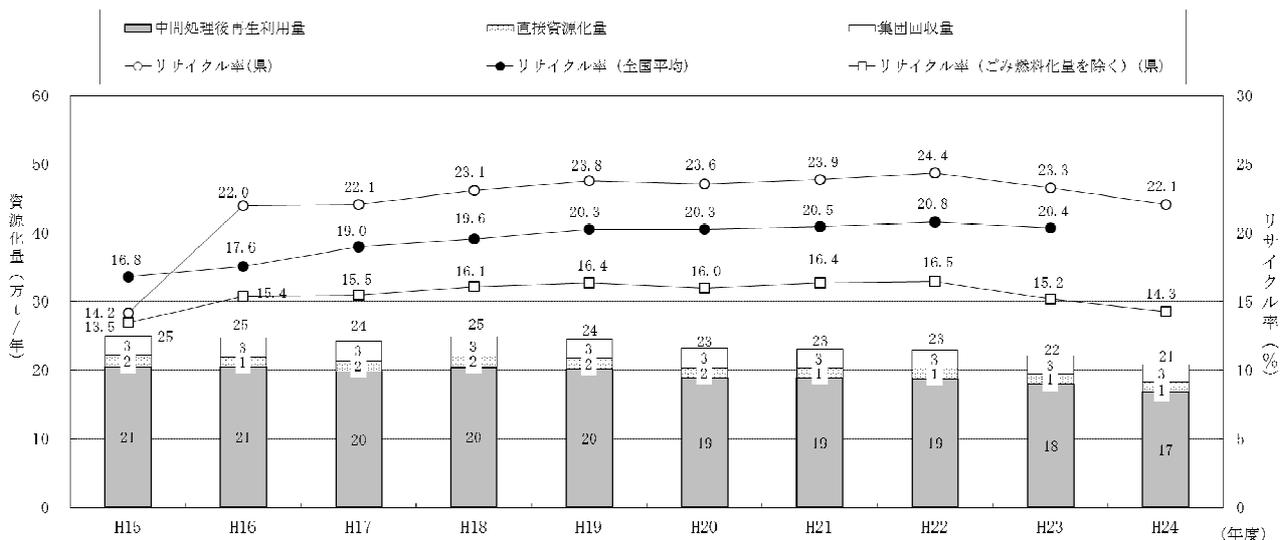


図 2-11 資源化量とリサイクル率の推移

(2) 種類別資源化量

市町等により収集処理され資源化されたものの種類別資源化量は、表 2-19 のとおりである。

表 2-19 種類別資源化量

(単位：t/年)

紙	金属類	ガラス類	ペット ボトル	容器包装 プラスチック類	布 類	溶融 スラグ	固形燃料	その他	計
31,178	18,009	15,208	4,225	24,619	4,538	956	73,786	10,348	182,867

(注) 「その他」は、肥料、焼却灰・飛灰のセメント原料化、BDF等

市町別の種類別資源化量及び一括データは、IV資料編の資料-表 12 及び表 13 に示すとおりである。